

社団法人日本新体操連盟

平成 23 年度第 2 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 23 年度第 2 回理事会
2. 日時： 平成 24 年 3 月 23 日（金） 11 時 00 分～11 時 40 分
3. 場所： 東京都渋谷区代々木 2-2-1
「小田急ホテルセンチュリーサザンタワー・21F オースティンルーム」
4. 構成員現在数： 17 名
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長）朝倉 正昭（副 会 長）石崎 朔子（副 会 長）
福本 隆（副 会 長）関田史保子（常務理事）渡辺 守成（常務理事）
秋山エリカ（理 事）池田真喜子（理 事）岡 久留実（理 事）
橋本 千波（理 事）藤島八重子（理 事）
荒井 隆（専務理事）上村 郁代（理 事）崇島 慎一（理 事）
谷口 裕代（理 事）谷原 誠（理 事）山崎 浩子（理 事）
田中 元（監 事）

以上 17 名（うち委任状出席 6 名）
その他監事 1 名（うち委任状出席 1 名）

6. 欠席役員： 岩本 晃（監 事）
以上 1 名

7. 議案：

決議事項

- 第 1 号議案 平成 24 年度事業計画について（定款第 5, 29, 38 条関連事項）
第 2 号議案 平成 24 年度収支予算について（定款第 29, 38 条関連事項）
第 3 号議案 その他

8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

（社）日本新体操連盟・定款第 24 条第 2 項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を朝倉正昭副会長と石崎朔子副会長にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第 25 条の定めにより、理事会出席者数委任状含めて 17 名であることが池田理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、福本隆副会長が進行を務めるよう依頼した。

(5) 議決事項

第 1 号議案 「平成 24 年度事業計画」について（定款第 5, 29, 38 条関連事項）

議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 平成 24 年度年間事業計画について

24 年度は 23 年度とほぼ同様に事業を計画している。

だが、毎年「東京体育館」で事業を行ってきたが、「東京体育館」が改修工事に入る為、「代々木第一体育館」や「千葉ポートアリーナ」で事業を行っていく。

クラブ選手権 8 月 24～26 日 千葉ポートアリーナ

団体選手権 9 月 8～9 日 千葉ポートアリーナ

イオンカップ 9 月 28～30 日 代々木第一体育館

日本新体操祭 9 月 29 日 代々木第一体育館

チャイルド選手権 2 月 22～24 日 千葉ポートアリーナ

セミナー 審判 3 回、国内 8 回、国外 2 回

を予定している。

質疑・報告

石崎副会長より、「イオンカップ」の最終日が国民体育大会の最初の日にと重なっているが役員の対応をどうするかと質問があった。

関わりある役員がどの位いるのか確認を行い、役員間で調整する事となり、大会も要項案のとおり、9月28日から30日で行う事を確認した。

石崎副会長より「チャイルド選手権」の5・6年生の部のルールを変更する件で会議を行いたいと提案され、4月以降に役員の時間を調整して会議を持つ事となった。

以上の質疑応答の後、第1号議案「平成24年度事業計画」を可決した。

第2号議案「平成24年度収支予算」について（定款第29,38条関連事項）

議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 事業収入

「預金利息」について

昨年度実績を反映して、昨年度より7000円マイナスの13000円を計上した。

「事業活動収入計」について

その他事業は昨年度同様の実施を予定しているので、予算も昨年度同様となっている。事業活動収入計は預金利子の7000円分を昨年度より減額し、2億3367万3000円を計上している。

2. 事業費支出

「刊行物の発行、ホームページ運営」について

刊行物「スフィード」と「ホームページ運営」では、外注している一部を事務局で作業する事にし、「スフィード」50万円減、「ホームページ運営」30万円減の予算計上としている。

「事業費支出計」

その他については昨年度ほぼ同様の経費計上しており、事業費支出計は2億202万円としている。

3. 管理費支出

管理費も昨年同様に3410万円を計上した。

4. 予算合計

事業費支出と管理費を合わせ事業活動支出計は2億3612万円。事業活動収支差額はマイナス244万7000円。投資活動、財務活動は行っていないため0円計上。予備費100万円を計上し、当期収支差額はマイナス344万7000円。前期繰越収支差額を加え、次期繰越収支差額1597万8374円を平成24年度収支予算とした。

質疑・報告

福本副会長より、「イオンカップ」開催は、現在スポンサー収入によって成り立っているがスポンサー収入が無くなっても継続して開催できるように色々な方向から検討していくべきなのではないかと意見があった。

渡辺常務理事から、現状スポンサー収入は辞退する企業もあるが、その分新しい企業が入り成り立っているので、イオンカップとして開催していく上では問題ないが、最悪な状況も考えて検討していく事が望ましいとの意見があった。

以上の質疑応答の後、第2号議案「平成24年度収支予算」については原案通り可決された。

第3号議案 その他

池田理事より、報告事項として「公益法人制度改革」について現在書類を整え、6月の総会に定款変更案を提出し、可決され次第、申請する事で作業を進めている進捗状況の報告があった。

「文部科学省・実施検査」について文部科学省の「実施検査」が行われ、文部科学省から最終の結果表は届いていないが、今まで実施検査を行ってきたスポーツ団体の中で最少の時間で検査が終了されたと評価を頂いたと報告があった。

以上2点の報告があった。

議長は議場にその他議案が無いか確認したがその他の議案は出なかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないことを確認し、理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成24年3月23日

社団法人 日本新体操連盟 平成23年度第2回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 朝 倉 正 昭

同 石 崎 朔 子